

- aneuploidy in human malignancies. Path. Res. Pract., **179**, 310~317, 1985.
- 9) Czerniak, B. et al.: Flow cytometric identification of cancer cells in effusions with Cal monoclonal antibody. Cancer, **55**, 2783~2788, 1985.
- 10) Ashall, F. et al.: A new marker for human cancer cells: The Ca antigen and the Cal antibody. Lancet, **ii**, 1~6, 1982.
- 11) Sasaki, K. et al.: Flow cytometric analysis of tumor antigen TA-4 in cervical squamous cells.

Gann, **75**, 703~706, 1984.

- 12) Mellin, W. et al.: Biological characterization of human bone tumors: (VII) Detection of malignancy in a giant cell tumor of bone by flow cytometric DNA-analysis. Path. Res. Pract., **180**, 619~625, 1985.
- 13) Durrant, L.G. et al.: Association of antigen expression and DNA ploidy in human colorectal tumors. Cancer Res., **46**, 3543~3549, 1986.

糸球体のない腎生検

腎生検は一部は尿細管や間質の病変を知る目的でなされるとしても、臨床医からの大部分の要望は糸球体障害の存在の有無とその程度を知ることである。したがって、顕微鏡に染めあがってきた腎生検標本を見るとき、糸球体の数が多ければ多いほど、われわれ病理医はより信頼性の高い組織診断ができるとありがたい。糸球体は1個でも診断がつくアミロイドーシスや膜性腎炎などの例もあるが、まったく糸球体がないとなると結果的に病理医の存在価値はきわめて低いものになってしまう。そんな実態は頻回では困るが、ないわけではない。

現在、腎生検は3種の神器ならぬ三つの処理法が広く行われているので、顕微鏡用のブロックを全部切っても標本に糸球体がないとなると、電顕用、蛍光抗体用の材料に期待をかける。電顕用のエポン包埋標本のほうに糸球体があれば、トルイジンブルー染色でも十分な情報が得られる。凍結させた標本をクリオスタットで切ったあとの残りの腎組織を解凍後固定して顕微鏡標本にしても、ある程度の判定は下せるものである。

ところが、まったく手の打ちようがないのが、三つ

こぼれ話

の検体のどれにも糸球体がないときである。“unsuitable material”とか“no glomerular tissue”と返事を出すときの欲求不満が、病理医側のみならず、返書を読んだ臨床医のほうにも高じるのは想像に難くない。正常なら表面から7mm程度は糸球体を含んだ皮質に全面を覆われている腎を刺していながら、どうして髄質だけが採れて糸球体が採れてこないのか、一時頭をひねったことがあった。しかし、ある臨床医の説明でこの疑問が水解した。

このような事態が起こるのは、生検針の出発点が腎被膜ではなくてすでに髄質近くからはじまる場合、つまり穿刺のはじまりから生検針の先端はすでに糸球体のないところ(髄質)にある場合である、ということである。手指の感覚を頼りに腎生検がされたパイオニア的な時代は過ぎ、エコー下あるいは透視下でのバイオペシーであっても、時には腎被膜直下から生検針が入ってゆかない事態があるのである。確実に腎被膜を認識する生検針でも望みたいところである。

(信州大学教授・病理学 重松 秀一)

医学書院 刊

小児の画像診断

藤岡睦久

●B5 頁318 図39 写真212 1986
¥6,500 千300

本書は、小児医学、臨床放射線医学の幅広いバックグラウンドの知識を基に書かれたわが国で初めての小児臨床放射線診断の成書である。成人の単なるミニチュアでない小児の画像診断的アプローチを平易に解説しており、広く小児科、小児外科、整形外科の臨床医と、放射線科医にすすめる。

医学書院 113-91 東京・文京・本郷5-24-3 ☎東京(03)817-5657(販売部直通) 振替東京7-96693